SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 更新

事業者名：株式会社　三津野建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・本社及び各現場で毎日実施する朝礼にて「品質環境方針」とした経営理念を唱和している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令変更に伴う研修等があった場合は、必ず社員全員に報告書を回覧することで法令を遵守する仕組みを構築している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公共工事発注案件において公平公正な「総合評価落札方式による入札」に積極的に参加している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社内でISO（品質、環境）事務局を設置し管理責任者を任命している。各部所間の連携を図り、定期的に内部監査を実施しPDCAの循環で管理体制を維持、更新している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・創業時（昭和28年）からの竣工図面を書庫にて保管している。 資料についてはデータ保管に取組んでいる。 ・他者の設計図面、建築物は著作物として保護されているため侵害を行なわないように事前調査を行なっている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報に対する基本方針を社内規定（個人情報・機密情報等の保護および内部通報）に定め、社員へ周知するとともに情報管理ルール厳守を図っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・健軍本町公園廻りの毎日の清掃を実施し、また町内会、自治会、敬老会などの行事の際には無償で自社多目的ホールをご利用いただき常に交流をしている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・主要な協力会社と3ヵ月ごとに懇談会・懇親会を開き情報交換、安全管理の確認をしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・会計事務所・金融機関との打合せをし事業承継の準備をしている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「学卒求人説明会」「公正採用選考人権・同和問題啓発推進委員研修会」に参加し社内議事録にて共有している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・工事着手前に入念な仮設計画を行い、工事中においては毎日3回の現場見回りを実施し日報に時間を明記している。改善項目があれば注意、原因の把握、再発防止までを各種会議で共有化している。 ・毎月必ず安全衛生協力会による安全パトロールを実施している。更に働く人達の為の休憩所にエアコン、冷水器、製氷機、シャワーを設置し衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 ・メンタルヘルスを確保するため、態度や言葉に注意を払うように会議等で周知している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・給与体系の統一化（年俸制）を実施している。 ・1年ごとに査定を行い公正な評価及び待遇を取っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・法令に沿った休日数及び有給休暇を提供し、全社員最低5日の有給休暇の消化随時休暇の取得状況を社内で管理している。基本的に残業や休日出勤は禁止とし、出勤した場合には事前に代休申請をするよう促している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・適切な能力開発、教育訓練の為にCPD（S）講習などを積極的に受講させている。 ・資格取得に向け専門学校の授業料補助や資格取得時の報奨金制度を導入している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・会社及び全ての現場において毎日始業前にラジオ体操を実施している。また社内にルームランナー、エアロバイク、マッサージ機を設置している。 ・テルサ熊本の法人会員であり希望する社員はフィットネスクラブの利用が出来るようにしている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・定年後に本人の希望、健康状態に問題が無ければ、更に定年後の再雇用制度も導入している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・コロナ感染症の5類移行後も、現場との会議、他社間との会議ににおいてzoomによるウェブ会議を実施ししている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・積算ソフトの導入やBIMの活用を始めており、今後の業界変化へ向けた対応を実施している。また社員2名がドローンの資格を取得しており、現場の施工状況をお施主様へ更に分かり易く案内している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・2016年2月23日からブライト企業の認定を受けている			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト **更新**　事業者名：株式会社　三津野建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・工事現場から排出される産業廃棄物は種類ごとに分別し収集運搬、中間処理、最終処分に関してはマニュフェスト伝票で確実に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて各エネルギー使用量を把握している。 ・太陽光パネルを設置し事務所の電気使用量の削減に取り組んでいる。 ・社用車はハイブリッド車を使用しガソリンの使用量削減をしている。 ・昼休み時間の消灯により電気の使用量の削減に取組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業所温暖化対策計画書制度に基づき計画書を提出している。 ・簡易計算シート等を用いて社用車はハイブリッド車を使用し燃料削減によりCO2削減排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・建材（接着剤）などに含まれる有害物質ホルムアルデヒドの飛散する量が少ないフォースター材を使用している。また社内基準を厳格化しており厚生労働省では0.08ppm以下となっている基準に対し自社では0.03ppm以下としている。このことで環境に配慮した施工を行なっている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・事業所から排出した段ボール、紙類については自治会の回収活動に提供し資源のリサイクルに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・震災後、水脈の変化により水源が枯渇した地域（南阿蘇村）へ自社所有地の水源を提供し村の飲料水にしている。（本年感謝状を頂いた）		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・建材（接着剤）などに含まれる有害物質ホルムアルデヒドの飛散する量が少ないフォースター材を使用している。 ・社員の名刺についてもFSC森林認定紙をしている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・本社社屋周りに草木を植栽し地域の環境保全としている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・本社に太陽光発電設備を設置している。 ・自社の紙類、段ボール類の処分は、自治会の回収に協力し資源リサイクルに協力している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト **更新**　事業者名：株式会社　三津野建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・全ての建物においておいて、24時間フルメンテナンス体制にて安全と品質を守る仕組みを構築している。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社屋にスロープを設置し、誰もがが利用しやすい環境を整備している。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・木材は県産材を積極的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・毎朝近隣の清掃活動を実施しており、また熊本県建設業協会主催のボランティアの日に地域の公園トイレ清掃・献血活動へ参加している。 ・日本赤十字社への寄付活動を毎年行っている。 ・自社多目的ホールを地域の町内会総会や敬老会等の行事に無償提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・熊本県建築協会と連携し毎年定期的に防災訓練に参加している。				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・毎年地元の高校、専門学校、大学から定期的にインターンシップを受け入れている。				4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県主催の「熊本県建設企業の魅力発見フェア」へ参加し地域の学生に対し建設業の魅力を伝えている。				4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。